※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　（教育出版）						
副教材等	高校硬筆の練習（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの学習をさらに発展させ、篆書・隷書・草書など様々な書体を体験し、鑑賞を通して書の表現の方法や形式を幅広く理解し、書についての知識や技能を身に付けよう。
・毛筆の特性や技法をさらに深めて学習し、意図に基づいて構想し、効果的な表現するために工夫しよう。
・毛筆の他、篆刻・絵手紙など様々な書表現が身近な存在であることを理解し、文字の変遷・伝統・文化に基づく学習活動を通して、主体的に身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための応用的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想した表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ガイダンス・篆書による学習	・本年度の授業について ・書体の変遷 ・篆書の基本点画による学習 ・石鼓文の臨書	a:様々な篆書を鑑賞し、古典の用具・用材の特徴と表現効果との関わり及び書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知識) a:石鼓文についての基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付けている(技能) b:知識や技能を得たり、生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成及び意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ作品
	隷書による学習	・書体の変遷 ・隷書の基本点画による学習 ・乙瑛碑の臨書	a:様々な隷書を鑑賞し、古典の用具・用材の特徴と表現効果との関わり及び書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知識) a:乙瑛碑についての基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付けている(技能) b:知識や技能を得たり、生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成及び意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ作品

※令和４年度以降入学生用

	草書による学習	・書体の変遷 ・草書の点画の省略と気脈の連続による学習 ・書譜の臨書	a:様々な草書を鑑賞し、古典の用具・用材の特徴と表現効果との関わり及び書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知識) a:書譜についての基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付けている(技能) b:知識や技能を得たり、生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成及び意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品
	硬筆	・「草書の学習」で文字構築を学び、そして書道Ⅰで学んだ仮名の基本を丁寧に美しく書くこと。普段から丁寧に書く習慣を身に付ける。 (夏季休業中から前期終了までの課題としても扱う)	a:草書や仮名の基礎的な表現をするために必要な技能を身に付けている(技能) c:日常生活での硬筆の書の効用に関心をもって、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワーク 提出作品		ワーク 提出作品
後期	篆刻による学習	・自分の名前調べ (篆書) ・名前の二文字(朱文)か四文字(白文)の印の制作 ・自由に文字や図案の印の制作	a:様々な印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わい、篆刻の意義や手順について理解している。(知識) a:篆刻の目的や用途・意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体構成の技能を身に付けている。(技能) b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c:名前の書体調べや図案考察を通じて篆刻について関心を持ち、主体的に創造的な表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ作品
	硬筆	・仮名から漢字仮名交じりの書と日常生活の書 (冬季休業中から後期終了までの課題として扱う)	a:仮名の連綿、散らし書き、漢字仮名交じりの書、日常生活の書の表現方法を理解し、必要な技能を身に付けて工夫している。(技能) c: 日常生活での硬筆の書の効用に関心をもって、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワーク 提出作品		ワーク 提出作品

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書(創作)	・色紙作品制作 語句 の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による下書き作品制作後 色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	a：漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、時代、風土、筆者などとの関わりについて鑑賞し、構成する様々な要素や、名筆と現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識） a：目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。（技能） b：目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c：主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現や互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わい、創造的に学習活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度